

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



1

January, 2023
vol. 442



Contents

会長年頭挨拶	01
副会長年頭挨拶	02
特集 地元の初詣	03
建築探訪 (秦野みのげ大日堂)	05
委員会活動報告 (木造専門委員会)	07
活動報告 (スポーツ大会)	08
賛助会だより	09
支部のページ (横浜支部・平塚支部・海老名支部)	11
編集者のつづやき (富士山)	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

謹賀新年

本年もよろしくお願ひいたします



『新年のご挨拶』

一般社団法人
神奈川県建築士事務所協会
会長 白井 勇



1

2023年、新たな年を迎えました。

3年前より続いているコロナ禍もワクチン接種や重症化の低下などで少しずつ日常が戻りつつあります。まだ油断は出来ませんが、事務所協会の活動も進められるようになりました。春には地引網を秋にはスポーツ大会を行い会員相互の交流と親睦を図る事が出来、会員や家族の笑い顔によろしくという安堵した気持ちになりました。

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会では昨年より県民や会員にとって「役に立つ会」・「魅力ある会」を目指し、各委員会や支部・本会相互の連携を図りながら次世代に繋げる活動を着実に成果に結びつける取り組みを推進しております。今年度は、時代の変化を享受しつつ、以下の4つの基本的な活動の取り組みを考えています。

1. 会員の利便性および収益性の向上に資するべく（仮称）会員サポートセンターの設立を中心とした様々な取り組み。
2. 厳しい財政状況を踏まえ、事業計画の立案とその着実な実行により会運営の活性化および健全化を図る。
3. 支部運営の実情を把握し、本会との連携を強化する。
4. コロナ禍を契機とした変化を見据え、現会員への支援と次世代へ繋げるための研究および取り組みを推進する。

特に、会員支援を目標として準備を進めている会員サポートセンターのスタートを2023年度とする実行計画を作成します。

会員サポートの内容としては、「経営戦略サポートコンテンツ」外向きサポートと「事務所運営サポートコンテンツ」内向きサポートに分類し整理し実行可能性等を検討し、順次スタートする事になると思います。

会員や会員外の建築士事務所に対しての広報戦略も重要で広報内容やターゲットを考えた広報方法を実行したいと考えています。

また、支部活動の重点に成り得る「仕事展」の多くの支部での開催を本会としてもサポートし、各支部の活動の活性化と会員増強に繋げる魅力ある活動に発展出来ればと考えています。

コロナ禍が続く中、昨年も資材の高騰・設備機器等の海外生産品の納入遅れといった様々な影響が続いており、先行きが不安な状況です。環境問題・デジタル化・働き方改革等建築界にとって今後まだまだ課題が山積しており、設計事務所の業務にも変化が生じています。

建築士事務所や建築士にとって、大きく変わろうとしている環境に対し、どう向き合うかが課題であり、会としてもサポート体制を確立したいと考えております。

本年も、県を始め各行政機関並びに会員・賛助会の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

～副会長より 新年の抱負を頂きました～



真正情報の提供

副会長 大和田 優

ここ数年、神事協の会員数は減少傾向にありましたが、昨年は会員数20社超の純増となり過去5年間で最大の上げ幅となりました。この結果は、昨年年初からの会費等無料キャンペーンの実施も一因ですが、社会通念が変化していく過渡期の今、神事協に「真に正しい情報の提供」を期待してのことではないかと感じております。

本年度は、全会員向けとして「建築を取り巻く諸事情の変遷（各種ロードマップ）に即したリアルタイムの情報提供」の発信強化に取り組みます。また、会員の皆様が個々に必要としている「それぞれの必要情報」の提供を容易に享受できるシステムの構築を、私の重要課題として据え活動する所存です。未だ構想段階ではありますが、LINEグループ等を活用した相談窓口（先人や専人に聞いちゃえ！的なもの）をサポートセンターのコンテンツの一つとして運用開始ができればと考えております。



打って出る

副会長 杉本 勝郎

昨年、第7波の収束が見え始めたところ久々の地引網、スポーツ大会、そして参集による委員会活動や、様々な会議が行われました。一番に感じたのは生き生きとした表情や胸に響く会話の心地良さでした。Webによる会議の利便性は認めるものの、やはりコミュニケーションとは、面と向かって話すことであると言わざるを得ません。たびたび起こる会の中での不協和音や誤解による議論も、コロナのせいにしても解決にはつながりません。

そんな中、(仮称)会員サポートセンターの創出も佳境に入っています。会員の役に立つべく、立上げを宣言したこの取り組みも、魂を入れるのは、各委員会の委員同士、また委員会の垣根を飛び越えたコミュニケーションによってしか成し得ないと思います。

独立したワーキンググループにしないと実現不可能というご意見もあるようですが、ここは、熱い意識を持ち、連帯感を持って各委員会の力を結集して打って出ようではありませんか。

年頭に際し思うのはこの一点であります。



ありふれた新年

副会長 山口 雄

この頃「普通」という文字が何だか霞んで見えているような気がします。その言葉の意味さえ考える事に虚しさを感じてしまうこの頃です。特別な事をすることもなく、ごくありふれたことを当たり前のように行い、そのことが社会的にも評価され、その結果として建築士としての社会的地位も認められる。そんな「神事協」でも良いのかと考えています。

新しい年を迎えたわけですが、今の世の中を嘆くのは終わりにして、会員の皆様と共に今を乗り越え、未来に繋げられる「神事協」を目指し声を上げていけたら良いのかなと考えています。



『餅は餅屋』

副会長 山口 英生

コロナ禍で普段やっていたことが出来なくなり早3年。敢えてチャレンジャブルに過ごそうと決意し、今まで言い訳して逃げていたことに片っ端からトライ。1年目は買って4年放置のBIMソフトをメーカーサポートを受けて辛うじてモノにし、2年目は10年医者から言われてきた内臓脂肪減量をトレーナーに叱咤激励されながら何とかモノにし、3年目は30年間不満だった自分の英会話力をモノにすべく先生からしごかれる日々。その道のプロのパーソナルサポートって大事！と改めて己の職業を意識する次第。さあ皆さん！コロナ4年目は何をやりますか？まず餅は餅屋って英語で言ってみよう！



会員サポートセンター

副会長 永島 優子

2023年は、私が担当副会長である業務支援委員会が、昨年度より、実施に向けた検討を行っている、神事協会員の事務所運営、経営に役立つための、「(仮称)会員サポートセンター（以下、サポセン）」が、いよいよスタートする年となります。

この「サポセン」設立は、神事協が、元々ラインナップしている会員のためのサービスメニューを機構化することであり、そのことから、会員であることの有意性を、皆様に再認識いただくことが、目的の一つとなっております。

1月末頃には、会員の皆様への「サポセン」に関する説明会を開催しますので、ぜひ、ご参加ください。



(平凡＝幸せ)

副会長 小松 正道

新年早々、昔話とはこれ如何に…！ですが、20年ほど前に、TVKのドキュメンタリー番組に出演した時にアナウンサーからあなたの夢は何ですか？との問いかけに「私は平凡と言う言葉は嫌いなので、人と違った人生を歩みたい」と答えています。

その頃の私は(平凡＝空虚感)とっていたようです。一年、一年、歳を重ねる毎に、今では、(平凡＝幸せ)と定義が変わりました。そこには、経営者として、仲間として、諸先輩方の背中を見て、いかに一歩、一歩が大切かを学ばせていただいた賜物と信じています。今年も多くの同志を集い、共に邁進したいと考えます。



特集 地元の初詣



青木神社

上大岡在住、早20年。初詣は、元旦、雑煮を頂き、家族で大岡川沿いをのんびり遊歩道へ、自宅から徒歩数分の青木神社と決めています。創建年代等は、不詳ですが、久保、最戸、中里、弘明寺、井土ヶ谷の6村をまとめた総社で、明治41年に、七社を合祀したという事。地域を見守ってきた歴史ある神社です。

【交通】

- ・横浜市ブルーライン 上大岡駅 徒歩8分
- ・京浜急行本線 上大岡駅 徒歩10分

【所在地】

横浜市港南区大久保2-1-11 *御朱印あり

横浜支部 (株) A & A 設計室 雨森 隆子



亀ヶ池八幡宮 (かめがいけはちまんぐう)

北相模の「亀ヶ池八幡宮」は、御鎮座約800年にもおよぶ歴史ある神社です。地元で地鎮祭があると、多くはこの神社の神主を呼ぶくらい有名な神社です。境内には金色に輝く「ゴールド神社」がありゴールド免許にあやかろうと交通安全祈願も盛んです。

【交通】

小田急線「相模大野駅」北口から神奈川中央交通バス「系統番号：大15 上溝行」乗車、40分程度で「亀ヶ池八幡宮前」下車徒歩1分

【所在地】相模原市中央区上溝1678

相模原支部 スタジオアートクリエイト一級建築士事務所 杉本 勝郎

3



春日神社 (横浜市港南区)

1099年に京都仁和寺の尋清僧都がこの地に錫を止め、神祠を建立して当地に祠を建立して武蔵国国司・藤原成実の守神である紫冠帯剣の神像を安置し、穂井の神社と称したのが始まりとされます。

鳥居をくぐり、参道は長い階段を上がり、社殿が見えてきます。年末年始は初詣で賑わいます。

【交通】

京浜急行線・地下鉄上大岡駅より横浜市営バス、神奈中バス・江ノ電バス

JR根岸線港南台駅より横浜市営バス、神奈中バス 「日野小学校前」バス停から徒歩5分

【所在地】

横浜市港南区日野中央二丁目9-3

横浜支部

アメジスト建築設計 一級建築士事務所 小河 泰隆



鹿島神社

古くからこの地域にある神社で、始まりは1636年、三浦安針ウイリアムアダムスの子 2代目安針が社殿を造営したとされます。もともとは、現在、海上自衛隊のある海岸部にありましたが、1891年に火災で社殿を全焼し、後に三浦安針の屋敷があったところと言われる現在の場所に新築されました。ヴェルニー公園からも近く、大晦日はヴェルニー公園のカウントダウンイベントに参加してから、初詣に来る地元の住人も多いです。

【交通】

- ・京浜急行 逸見駅 より徒歩5分
- ・JR横須賀線 横須賀駅より徒歩8分

【所在地】

横須賀市西逸見2-70

横須賀支部 (同) 戸井田設計 戸井田 顕



報徳二宮神社

小田原駅からも歩ける距離にあります。春は花見しながら、秋も色づく葉に心を奪われながら、ここに到着するルートはいくつもあり、地元民はみんなそれぞれのお気に入りがあるようです。特集記事で紹介していますが、初詣が特別にいいわけじゃないです。実はどの季節も良いのです！境内のカフェでお茶だけでも有りですが、報徳会館内でお食事もできます。これは決して中途半端な食事ではありません、誰を連れて行っても感動してくれる素敵なお料理でおもてなしできます。混雑を避けて良い季節にぜひ来てください。

【所在地】小田原市城内8-10

県西支部 竹広林業（株）一級建築士事務所 加藤 一郎



川崎大師（金剛山 金乗院 平間寺）

もろもろの災厄をことごとく消除する厄除大師として、靈驗あらたかなことは昔から有名で「厄除けのお大師さま」として親しまれ、総本山は京都東山七条にある智積院。成田山新勝寺、高尾山薬王院とともに、真言宗智山派の大本山の寺院です。毎年、初詣は約300万人もの人がお参りに訪れます。川崎大師へと続く仲見世通りは大変な賑わいです。

【交通】

京急川崎駅より大師線に乗り換え、川崎大師駅下車、徒歩8分。

【所在地】

川崎市川崎区大師町4-48

川崎支部 株式会社 創信建築事務所 森本 和樹



由比若宮（元八幡） ゆいのわかみや（もとはちまん）

鶴岡八幡宮に源頼朝が社殿を移す前のこと
康平三年（1063年）相模守であった源頼義が鎌倉に立ち寄り、源氏の守り神 石清水八幡宮の祭神を移し祀った地と云われています。

落ち着いた心持ちで新年をスタートさせたい
そんな人には格好の静かな場所に佇んでいます。

【交通】

・JR鎌倉駅東口6番バス乗り場から九品寺方面行「元八幡」下車徒歩1分

・JR鎌倉駅東口から徒歩15分

【所在地】

鎌倉市材木座1-7（鶴岡八幡宮）

鎌倉支部 アトリ工空庵 中原 尚代



豊受大神

豊受皇大神が騎乗姿で神亀2年（725）に勧請したと伝えられ地元の鎮守として祀られてきた本神社は、海老名サービスエリアの南側に位置しています。ここでの初詣は、年越しに合わせてお賽銭のお守りを配っていただけです。コロナ過前には、お汁粉や甘酒も振舞われていましたが、復活

するでしょうか。お守り等も購入できますし、地域のマラソン大会も行われます。本殿は大山と富士山が広がる方向に向けられており、神社周辺では拓けた景色が心地よいので是非訪れてみてください。

【交通】

海老名駅より相鉄バス

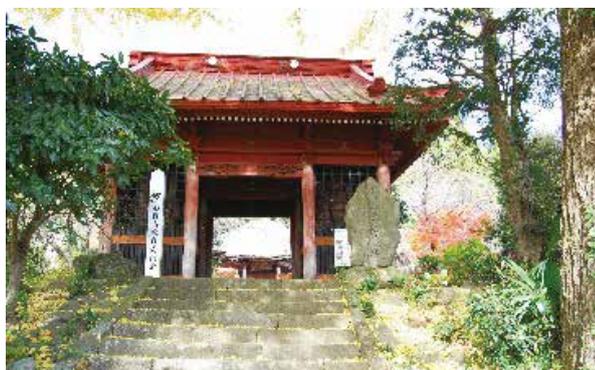
「ナイロン経由農大前行」椿地藏バス停下車または、「下浜田経由農大前行」杉久保住宅バス停下車から徒歩7分

【所在地】

海老名市杉久保北2-22

海老名支部 （株）SAIplus建築設計事務所 仙波 弦

秦野みのげ大日堂のいま



仁王門



大日堂



不動堂



地藏堂

矢野建築事務所 矢野 高

本誌2015年9月号「支部だより」にて、田代茂夫前支部長が秦野市蓑毛の「みのげ大日堂」の保存活動について書かれていましたが、以降7年の月日を経て、会員の皆様にもその後の進展に関心をお寄せの方もおられるかと思い、「その後」を貴重な誌面をお借りしお伝えします。

※大日堂の建物・仏像群につきましては本会会員向けwebサイトの会誌「KANAGAWA」のアーカイブもぜひご覧ください。

※こちらの修復保全の活動は秦野支部や平塚・伊勢原支部、建築士会中支部の有志が他市民団体とともに立ち上げた組織にて行なってきました。

■御神木・銀杏の木伐採へ



採された御神木の銀杏。地域のランドマークでもあった。
※下写真ははだの大日堂保存会会誌「いらか」より転載

「古より蓑毛を見守りし銀杏の木」と地域の人々や参拝者に親しまれてきた御神木の銀杏の木を断腸の想いながら2016年夏に伐採しました。上写真は伐採前と、伐採作業中の一コマ。

■登録有形文化財へ（2017年10月）

蓑毛大日堂と総称する4つの建築（蓑毛大日堂仁王門、蓑毛大日堂、蓑毛不動堂、蓑毛地藏堂）は、以前から登録有形文化財への登録を目指していました。

田代氏とともに、秦野市生涯学習課のご指導を仰ぎ資料作成等の準備を主に2016年後半に進めてきたが、その甲斐あってか翌年早々に神奈川県経由で文化庁の審議を経て2017年10月27日、登録有形文化財となりました。

正式な登録の報せを受け、「タウンニュース」紙や神奈川新聞に紹介されたときは小生も携わった者の一人として感無量でありました。

■組織のNPO法人化へ

前出の「秦野支部や平塚・伊勢原支部、建築士会中支部の有志が他市民団体とともに立ち上げた組織」は2009年に発足した「秦野みのげ文化の会」という組織であったが、今後修復活動を現実的に進めていくなかで費用を調達するにあたり財団や行政の助成を受けることを視野に入れ、2022年1月11日に「NPO法人はだの大日堂保存会」へ改組しました。

■現在の活動について

仁王門に鎮座する二王像（阿形）については、大手新聞社系の文化財団より助成金の交付が決定しました。

また、かながわヘリテージマネージャー協会の内田美知留氏の立案のもと秦野市生涯教育課との協働により、国の助成を受けるべく動いています。さらに篤志家からも大口の寄付の話があり、そういった面では修復へ向けここ数年で目覚ましい進捗がありました。

■この文化財の大切さをより多くの人へ伝えたい

現在下記にて主に同会主催による蓑毛大日堂公開を行なっています。是非足をお運びくだ

さい。

【月例一般公開】毎月第一日曜日 9:00～15:00

※1月は第二日曜の場合もあり。

【閻魔詣】毎年8月16日 13:00～20:00（下写真）



【文化財特別公開】※秦野市主催

毎年10月下旬～11月3日 10:00～15:00

【元旦公開】毎年1月1日 9:00～15:00

※住所・ナビ検索入力:「秦野市蓑毛721」にて「はだの大日堂保存会」の公式webサイトはこちらです↓



QRコードから、ご覧ください。

※参考文献 はだの大日堂保存会webサイト・会誌「いらか」文化庁webサイト「文化遺産オンライン」他

10/20開催『進化する都市木造の世界～防耐火設計の最新情報を知る～』

木造専門委員会 委員長 株式会社悟工房 一級建築士事務所 山中 信悟

「進化する都市木造の世界」と題し企画した今回の講習会、この時期に開催した想いとして5月に横浜市内へ「OYプロジェクト」が完成したことから感じている方も多いかと思いますが身近なところで都市木造への関心が大きくなっていく昨今において木材利用促進がさらに進むと考えられます。法体系の中においても毎年のように改正がなされ告示による設計も可能となっています。神奈川県は全国有数の都市をいくつも持ち都市木造の需要は多く出てくると考え都市木造と言えば防耐火をどのようにとらえるか？を知るためには安井先生をおいて他はないという結論に達しこの度の講習会となりました。

講師依頼に際して神事協会員の7割が木造を生業にしているが比較的小規模な建築が多く非住宅の経験も少ない。このことからすべての会員に分かりやすく都市木造だけとせず広く解説をお願いしました。

講習会冒頭、動画による炎の燃え広がりの解説の中で壁が可燃物であっても10分以上経過しても燃え広がらず消防が到達するまでの時間は大丈夫なこと、上方へは燃えるものの横へは燃え広がりにくいこと、含水率15%の木材で750gの水が木材に含まれていることから燃えにくいということを学びました。これは「木は燃えやすい」ということを覆し「燃え方をコントロールする」内容になります。

紹介された資料の中で興味深いのはオーストリアの建築への考え方がありCLT7階建てとRC3階建ての比較がありました。この2つの建物は、重さがほぼ同じで乾式工法と湿式工法の差により工期も同じで造ることができる点から7階建てでは木質構造であるCLTが採用されたということであります。これは日本においても技術が成熟し事業者が事柄を正確にとらえるための情報が充実すれば普通に判断される内容であります。そしてその技術が現在はまだ少ないながらも日

本には存在します。このことを考えて行けば都市木造の技術は都市部を多く持つ神奈川県では充実していかないと改めて考えさせられました。細かな技術の紹介の中では木造準耐火構造の多くがメンブレン構造となることから設備隠ぺいのために被覆へ開口をすることができないので工夫が多く必要など日々の設計でも考えなおして行くきっかけとなりました。

国内の事例の紹介において設計体制の解説では意匠事務所(統括)は3~4名程度の事務所と大きなゼネコンの協働が多いことに目を引きました。大きな技術は大きな企業でと考えられやすいが身近に設計ができることが今後の期待となります。

最後に今後の改正内容や展望の解説を得て充実した講習会となりました。

多くの参加者に恵まれこの場を借りて主催委員会委員長として皆様へ感謝申し上げます。次年度以降も木造の促進に向け研鑽の場を作っていければと思います。



活動報告

スポーツ大会

県西ブロック長 有限会社渡部一級建築士事務所 渡部 雅行

此度のスポーツ大会（バトミントン）は、コロナウイルスの影響を受けて、3年越しの開催となりました。県西ブロックでは、今迄、小田原市を中心にソフトボール大会を何度か行なって来ましたが、バトミントン大会は、2012年の小田原大会から数えて10年目、2度目となり、2市8町から構成されている県西ブロックとしては、皆様へ御紹介していなかった大井町での初の開催となりました。大井町は、ひょうたんが有名で、土産物として、ひょうたんの漬物やひょうたん最中等が有ります。高台には、以前、第一生命が本社ビルを構えていましたが、第一生命撤退後には、コーヒーマーカーのブルックスが直売店を構えております。今回の参加賞は、こちらの会社の物です。現在、このビルには、神奈川県が運営する未病の為の体験施設（未病バレービオトピア）が併設されており、御家族連れは勿論、誰でも無料で楽しく使用体験出来ます。又、屋外にも、散策施設が充実しており、特に春の桜並木は、地元でも有名で多くの人々がお花見に訪れますので、是非、一度、遊びに来て下さい。さらに、大井町には、2つの酒造メーカーが御座いまして、1つは、石井酒造さんで、「曾我の誉れ」が有名で、もう1つは、井上酒造さんで、「箱根山」が有名です。今回優勝者、準優勝者、入賞者の方々には、こちらのお酒を副賞として、御用意させて頂きました。どちらのメーカーも予約すれば、無料で、工場見学出来ますので、上記、体験施設と合わせてお立ち寄り頂ければ、幸です。

さて、肝心の大会の様子ですが、大会には、総勢85名の方々に、参加頂き、楽しく開催出来ました。今回の大会では、コロナウイルスの影響で、運動不足となっているであろう会員皆様の為に、本格的な試合と言うよりは、娯楽的要素を取り入れて、兎に角、楽しんで頂くことを第一に企画されました。最初に個人種目として、リフティングを1分間で、何回出来るかを競って

頂きました。当初、県西支部でのシュミレーション練習では、60回続けば上等で、良くできても、80回程度だと思っておりましたが、当日、その予想をはるかに上回る125回を叩き出す強者が現れて、びっくり致しました。平均1秒間に2回以上叩いたことに成ります。これだけでも、かなり疲れましたが、休む間もなくダブルスの試合が、行なわれました。始めの内、動きの堅かった選手の方々も、中盤以降体がほぐれ、白熱した試合が、各コートで繰り広げられておりました。1チーム当たり、3試合を休みなく戦って頂きましたので、皆さん結構ヘトヘトに成っていたようです。その結果、優勝は、湘南①、準優勝は、県西C、三位は、湘南②、四位は、事務局、五位は、相模原②となりました。今回は、大きな事故もなく、皆様に楽しんで頂けたことが、何より良かったと思っております。これで、次の開催予定地の県央ブロックさんへバトンを渡すことが出来ましたので、ほっとしています。御参会頂きました、皆様、本当にありがとうございました。



賛助会だより

50年の感謝と未来への飛躍



一般財団法人 神奈川県建築安全協会 経営企画部長 細田 肇



新年あけましておめでとうございます。

当協会は今年5月に設立50周年を迎えます。

年初の「賛助会だより」にて皆様へ感謝の気持ちをお伝えできるこのような機会を頂いたこと、とてもありがたく存じます。

今年も引き続き格別のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

●設立50周年！

当協会が今日まで成長できましたことは、貴協会会員の皆様始め関係する設計事務所の方々のご理解、ご協力並びにご支援の賜物と心から感謝申し上げます。これからも皆様とともに邁進してまいります。設立50周年記念の企画も計画しておりますのでご期待ください。

●電子申請システムとARCHITREND ZEROとの連携！

当協会の電子申請システムであるNICE WEB申請システムが福井コンピュータアーキテクト(株)のARCHITREND ZEROと連携していることをご存じでしょうか？

電子化、省エネ化への対応が今後ますます必要になる中、ご連絡を頂ければ当協会の電子申請システムについて説明にお伺いしますので、是非ご利用されていない会員様におかれましては一度お試してください。



※右記のQRコードから説明動画（約13分）をご覧ください。➡

●セミナー等による情報発信（省エネの義務化や基準法改正の3年目施行に向けて）

今年はフラット35の省エネ義務化や基準法改正の3年目施行に向け、国等から具体的な情報が出されます。当協会では最新の情報をセミナーなどにより情報発信してまいります。

●法令・技術基準のプロとして徹底的に寄り添います！

創立50周年を迎え心新たにこれからも神事協会員の皆様から信頼を得られるよう、徹底的に寄り添いながらサポートに努めてまいります。

ARCHITREND ZERO と連携

いまより
もっと **確認申請を**
ラクになる ネットで!!

便利簡単

新 NICE WEB
しい電子申請

特定建築物等の
定期報告についても
オンライン受付
実施中!

50th ANNIVERSARY
- since 1973 -

50年の感謝と未来への飛躍
- 安協の挑戦 -

確認検査業務の電子申請
ご好評いただき
シェア拡大中です!!

賛助会だより

木造向け日鉄ルーフデッキ「EM50・EM75」を販売開始いたしました。

日鉄建材株式会社 建築技術部 商品技術室 井澤 祐衣

日鉄建材株式会社 建築技術部 商品技術室の井澤祐衣と申します。入社2年目となり、製品の利用技術開発やPR活動等に携わっております。

日鉄建材は、日本製鉄のグループ会社として、建築分野では鉄鋼二次加工製品である角形鋼管やデッキプレートを生産、販売しております。鉄鋼建材製品を通じ、心から快適と思える生活空間を創出するとともに、人々の安全で安心な暮らしと社会の発展に貢献できるよう努めております。

昨今、持続可能な開発目標（SDGs）の策定をはじめとして、世界規模での環境問題に対する意識が高まり、建築業界でも木材利用促進の機運が高まっております。弊社は日鉄ルーフデッキが水平荷重を負担するデッキプレート下地乾式屋根ノンブレース工法「NBR工法」を木造建築物へ適用拡大した、「木造NBR工法」（GBRC性能証明11-21号改1）を2022年4月に（一財）日本建築総合試験所にて取得し、木造向け日鉄ルーフデッキ「EM50・EM75」を販売開始いたしました。木造建築物の屋根は固定・積雪荷重等の鉛直荷重を受けると同時に、地震や風による水平荷重を負担する必要があります。水平構面に大きな面内せん断耐力・剛性を確保するため、在来工法である合板屋根構造の場合は屋根受材となる小梁・甲乙梁の部材が多

くなります。木造NBR工法では、その小梁、甲乙梁を削減でき部材加工・施工数が低減されるため、材料コストと工期の削減が可能になります。また、折板屋根構造の場合は、水平ブレースや接合材であるタイトフレームを設ける必要があります。木造NBR工法ではその両者が不要となるため、施工性・意匠性が向上します。

木造NBR工法の適用範囲、面内せん断性能、鉛直荷重等の詳細については、設計マニュアルおよび設計施工標準仕様書を弊社HPに掲載しておりますのでご活用ください。



図1 木造向け日鉄ルーフデッキ「EM50・EM75」

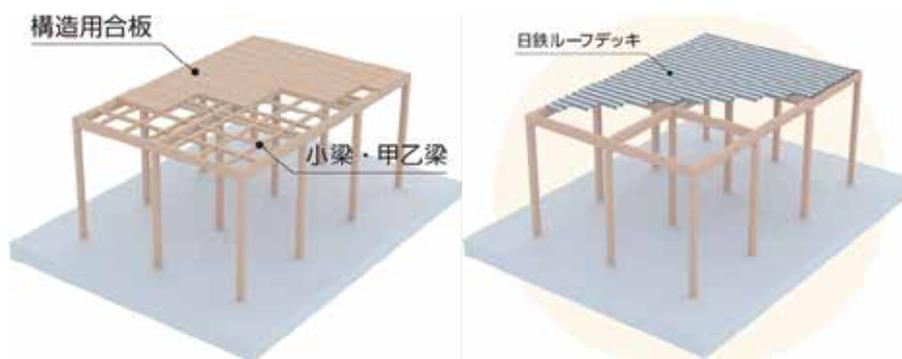


図2 従来の合板屋根構造と木造NBR工法の比較

けんちくしごと展

副支部長 (株)金子設計 稲毛 恒男

令和4年のけんちくしごと展は、横浜市公共建築100周年事業の中で、横浜市役所アトリウムにて、よこはま建築ひろばこどもワークショップの一つ「とび出す建物に色をぬろう」と題して開催しました。また会員の作品展示は、ここ数年はA1パネルを壁面展示していましたが、今回は横浜市公共建築100周年事業の年表展示と重なり展示できるスペースが取れなかったため、デジタルサイネージを使い会員から募集した作品写真を動画にして終日展示しました。

今回は主にこども向けワークショップに特化した形で行い、好天にも恵まれ驚くほど多くの方々にご来場いただき、午前11時半の段階ではほぼ当初予定の60組分の整理券がはけてしまい、入口には満員受付終了の看板を出しました。それでも希望されるお子さんには予め用意しておいた持ち帰り用をお渡しするなど少なくとも合計で100組以上の方が何らかの形で参加されました。色を塗る建物の題材は横浜市新市庁舎、開港記念会館、横浜美術館、赤レンガ倉庫、大佛次郎館、ズーラシアキリン舎、以上6つ建物をプリントして、お子さんの安全確保の観点から、委員が自宅に持ち帰り折りやすいように予め切れ込みを入れた上、山折り谷折りがし易いようにした物をお配りしました。お子さん達に自由に選んで頂き、好きな建物に自由に色を塗り、最後に山折り谷折りをして飛び出す建物の完成です。会場にはほとんどが親子づれで親御さん達も参加して、見ていてもほのぼのとする楽しい一日でした。お隣の会場では日本建築家協会JIA神奈川が「空間ワークショップ」を開催しており角材とジャンボ輪ゴムを使って建物を組み立て、アトリウム空間を生かして高さ6m位の巨大な建物を創っていました。他にも「間伐材で作るオリジナルコースター」や「工作！お家で使える延長コード作り」「建設重機・機械工具体験会」など、様々なこどもワークショップが開催され大いに賑わいのある公共建築100周年事業となりました。このイベントを通して、将来建築に興味を抱いてくれるお子さんにエールを送ります。



愛され続ける建築と設計図書の保存

熊澤悟史建築設計事務所 熊澤 悟史

私は住宅関連の仕事を中心に独立して3年程であり、神事協へは独立と同時に参加させて頂いている。諸先輩方には仕事から人生についてまで幅広くご助言を頂くことで日々励まされており、感謝の念は絶えない。加入したことで耐震関連の仕事に触れる機会を得ることができた。元々時間を経た建築に興味があり、時を経ても愛され続ける理由は何なのかを模索していることもあり、興味深く務めさせて頂いている。何より、今住んでいる家に住み続けたいという人たちと直接的な接点を持つ良い機会になってくれている。

今住んでいる家をなぜ残したいのか？一言目にはお金の話が来る。そうそう住み替えることや建て替えることができるわけではない。耐震診断を受け、自治体からの補助を受けつつ補強工事を施し住み続ける、それが一番コストはかからないと。そこからもう少しだけ話を深掘してみると、そもそも論として壊すのが忍びないという話が上がってくることもある。住まい手にとって家族の思い出などを象徴し人生を包み込む、そんな存在に建物になっているためだ。例え建物に優れた意匠や構造や設備が存在しなくとも、そこで生きてきたことが特別な愛着を生んでいる。また、人は他の建物に対して、そこで展開されたストーリーを感じ取ることで同じような思いを抱くことができる。このことは建築規模の大小による違いもないだろう。建築の保存運動の根幹もここにあるのではないかと思う。

耐震診断など現地調査をしていると、ほぼ例外なく何らかの手入れがなされている。住み続けるということは手を入れ続け

ることもある。そのために設計者ができることは何かと考えると、設計図書(最終図)の保存が頭に浮かぶ。現地調査や改修案設計の折、設計図書がない場合の困難さに直面するとなおさらだ。法律上の保存期間だけではなく、その建物が存在する限り保存しておけるような仕組みが望まれる。協会において今後、会員サポートセンターという形の中で、設計図書保存サービスの検討もされていると聞く。私のような個人や小規模な組織ではできることに限界があるため、このような協会の動きにも今後期待したい。



八幡山の洋館 平塚市 登録有形文化財(建造物)



五十嵐商店 秦野市 登録有形文化財(建造物)

熊本県を巡って

株式会社SAIplus建築設計事務所 仙波 弦

海老名支部では全国大会に併せて支部の「建築視察」を恒例の研修として行っています。昨年
の熊本の際も視察をさせて頂きましたので、活動報告させていただきたいと思ひます。



熊本県立装飾古墳館

安藤忠雄氏の設計のこの歴史資料館は、全国初の古墳専門の博物館です。「建物へのアプローチは歴史との対話でもある」というデザインコンセプトで構成されている通り、正面入口までの森、大階段、円形スロープを経ての建物への導入といった「長いアプローチ」を体験できました。



熊本県内には数多くの古墳群が存在し、中でも装飾古墳は全国の38%にも及ぶ186基が見つかるそうです。建物は前方後円墳を模し、現代の古墳をイメージしています。

熊本城

13

天守閣は復興のシンボルとして先に修復工事が終わり、内部を見る事が出来ました。しかし復旧作業はまだまだ気の遠くなるような道のりがあり、現在も崩れた石垣などかなりの範囲に見られました。

復旧の工事中にのみ見る事が出来る「特別見学通路」もありますので、是非訪れてみてください。



八千代座

山鹿市にある芝居小屋です。平成十三年の春に耐震や復元を終え大正十二年当時の姿に完成した歴史ある建物です。舞台下の奈落など見どころ多い建物でした。



新阿蘇大橋

2016年4月熊本地震の本震によって崩落した阿蘇大橋の架け替えとして、元の橋から600m下流に、2021年3月に架設された橋です。地震の教訓を踏まえ耐震性に優れた造りになっています。



新入会員の紹介

横浜支部

よこはま建築監理株式会社 一級建築士事務所 田中 正人
〒231-0036横浜市中区山田町5-1 フローラ山田第2-109
TEL.045-252-9207/FAX.045-252-9206

株式会社京急ビルマネジメント 宮坂 岳
〒220-0011横浜西区高島1-2-8
TEL.045-307-3800/FAX.045-307-3808

株式会社 総合企画設計 横浜支店 宮田 弥吉郎
〒220-0004横浜西区北幸2-8-19
TEL.045-290-3088/FAX.045-290-3089

Rew Clasie 坂一級建築士事務所 坂 瑞貴
〒247-0006横浜市栄区笠間2-15-52 ホワイトハウス湘南205
TEL.080-6189-4269

株式会社大船住研 柳田 香徳
〒233-0013横浜市港南区丸山台1-11-21-102
TEL.045-847-2205/FAX.045-847-2207

川崎支部

一級建築士事務所KKSエンジニア 坂本 憲一
〒215-0011川崎市麻生区百合丘1-5-23
TEL.090-4249-6754

株式会社デザインファクトリー一級建築士事務所 長谷川 寛
〒216-0033川崎市宮前区宮崎3-14-27
TEL.044-767-9237/FAX.044-767-9237

横須賀支部

株式会社 B・C・TECHNIX 一級建築士事務所 萩原 真弓
〒239-0804横須賀市吉井2-8-21
TEL.046-841-4120/FAX.046-842-2129

藤沢支部

株式会社丸山アーバン 長村 哲男
〒251-0052藤沢市藤沢223-2
TEL.0466-47-8200/FAX.0466-29-3900

桑島設計 桑島 陸洋
〒251-0023藤沢市鶴沼花沢町13-13-202
TEL.090-1739-7054/FAX.0466-27-1259

鎌倉支部

FUDO一級建築士事務所 三輪 直樹
〒248-0013鎌倉市材木座1-5-1
TEL.090-4174-5199

茅ヶ崎寒川支部

合同会社 川合学設計事務所 川合 学
〒253-0026茅ヶ崎市旭が丘8-15
TEL.080-1483-7576

相模原支部

天草正暁建築設計事務所 天草 正暁
〒252-0183相模原市緑区吉野99-4
TEL.090-6148-7804

退会者

横浜支部

福本建築測量事務所 福本 正幸

川崎支部

福井建築設計研究所一級建築士事務所 福井 綾子
一級建築士事務所N建築設計 中林 美知子

相模原支部

エース建築設計事務所 井波 浩二

変更

横浜支部

末吉アーキテクト・オフィス (所在地変更)
〒240-0006横浜市保土ヶ谷区星川1-1 ボナハイツ星川412

戸田建設株式会社横浜設計室 一級建築士事務所 (事務所名、指定代表者変更)
戸田 隆一 (旧) 戸田建設株式会社横浜支店 一級建築士事務所

茅ヶ崎寒川支部

株式会社住地総建チーム二級建築士事務所 (所在地変更)
〒253-0044茅ヶ崎市新栄町2-24

会 勢

支部名	令和4年12月1日現在				増減
	令和4年4月1日	現在	入会者	退会者	
横 浜	245	255	15	5	10
川 崎	103	108	9	4	5
横 須 賀	50	52	2	0	2
湘 南 三 浦	17	16	0	1	-1
藤 沢	35	36	2	1	1
鎌 倉	38	40	3	1	2
茅ヶ崎寒川	14	15	1	0	1
平 塚	22	22	0	0	0
秦 野	13	14	1	0	1
伊 勢 原	5	5	0	0	0
大 和 綾 瀬	19	18	0	1	-1
厚 木	31	31	0	0	0
座 間	12	12	0	0	0
海 老 名	16	15	0	1	-1
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	63	63	1	1	0
県 西	39	38	2	3	-1
合 計	728	746	36	18	18
賛助会員	96	96	1	1	0

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。
※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

11月に引き渡しを終えた現場からは富士山がよく見えました。ただ、同じように晴れの日でも、よく見える日と全然見えない日があり、現場に行くときの小さな楽しみになっていた気がします。また、時間帯によっても見え方が全く違うことにも、改めて気づかされました。「いつも同じようによく見える」ということはでなく、見えたり見えなかったりすることが、実はとても大切な気がしました。



(横須賀支部 戸井田設計 戸井田 顕)

◆◆◆令和4年度 入会金&会費無料キャンペーンの実施について◆◆◆

現在、当会では「令和4年度 入会金&会費6ヶ月間 無料キャンペーン」を実施中です。

会員の皆様におかれましては、まだ当会へ入会されていないお知り合いの建築士事務所様への周知等、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<制度内容>

◇入会金30,000円および入会時から6ヶ月間の会費を免除

◇適用期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日までのご入会分

※詳しくはキャンペーン特設ページをご参照ください。→https://j-kana.or.jp/architect_news/4908



KANAGAWA 令和5年1月号 (通号442号)

発行 令和5年1月1日 (奇数月1日発行)
 発行人 白井 勇
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

担当副会長 杉本 勝郎 小松 正道
 会誌編集特別委員長 小泉 厚
 会誌編集特別副委員長 加藤 一郎
 会誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆
 森本 和樹 戸井田 顕
 中原 尚代 仙波 弦
 事務局 久保田 千尋



今月の表紙

川崎大師平間寺

今から約900年前、平間兼乗という武士が、川崎の地に住みつき、漁獵をなりわいとしていました。兼乗は海に出て、光り輝いている場所に網を投じますと一鉢の木像が引き揚げられました。それは、大師の尊いお像でした。その頃、高野山の尊賢上人が諸国遊化の途上、たまたま兼乗のもとに立ち寄られ、尊いお像と、これにまつわる靈験奇瑞に感泣し、兼乗と力をあわせ、大治3年、一寺を建立しました。兼乗の姓・平間をもって平間寺と号し、御本尊を厄除弘法大師と称し奉りました。これが、今日の大本山川崎大師平間寺のおこりです。

(表紙写真・文章／森本 和樹)